

母子保健事業の評価に関する研究

分担研究報告書

分担研究者 日 暮 眞

〈リサーチ・クエスション〉

1. 地域における障害児の包括的ケアのあり方
2. 乳幼児健診の有効性の評価
3. エイズ教育を保健従事者が行うためのガイドラインの作成
4. 補装具について価格決定法は適切か
5. 育児における父親の役割の検討
6. 母子保健領域における健康教育のあり方

〈研究目的〉

超高齢化社会を迎えるわが国において、社会の将来を支える現代の子どもたち、これから生まれてくる子どもたちの心身の健康を目的として、種々の母子保健事業が展開されている。本分担研究班では、これらの各種母子保健事業の評価を行う目的で、上記のリサーチ・クエスションを設定し研究を行った。

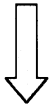
〈研究方法〉

- (1) 地域における障害児の保健・医療・福祉の包括化に関する研究
- (2) 乳幼児健診の有効性の評価検討
- (3) 育児における父親の役割の検討
- (4) 母子保健領域での健康教育に関する調査
- (5) 母子保健従事者がAIDS教育に関わるための準備
- (6) 補装具に関する研究

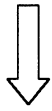
〈研究結果〉

- (1) 診療・保健・福祉面からみて人口サイズにしたがって①人口100万②人口10～30万③2次診療圏の中の生活に密着した1次診療圏（町村単位）の3群にわけ、障害児の包括的ケアのシステム・モデルを図示した。特に、2次診療圏を中心として保健所・市町村母子保健センターの役割、1次診療圏における巡回健診チームの提言、地域ネットワークにおけるkey personの役割・職種・キャラクターとその育成法、児童相談所のあり方、保健所・幼稚園・学校との望まれる関わり方等の検討を行った。

- (2) 健診有無別の評価を下すことはきわめて困難なため、先天性股関節脱臼症の健診を対象とし帰結を点数化して判断樹 decision tree をつくり、その得点を比較検討した。
- (3) 家族における父親の役割に関し、父親と健診，保健指導，父親の臨床研究，父親面接の面から検討した。
- (4) 母親学級受講経験者より得た学習効果に関する調査検討を行い、以下のことがわかった。保健所や市町村の母親学級においては、学級後の人間関係の形成や地域資源への接近という「社会的ネットワークの向上」について受講効果として位置付け、学習内容や方法を検討し評価していくことが望まれた。
- (5) A I D S 教育を保健従事者が行うための助けとなるような「手引き書」(案)の作成を行った。
- (6) 小児座位保持補装具に限定し、データベースの更新・洗練化，処方マニュアル，客観的評価法の確立を行った。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



研究目的

超高齢化社会を迎えるわが国において、社会の将来を支える現代の子どもたち、これから生まれてくる子どもたちの心身の健康を目的として、種々の母子保健事業が展開されている。本分担研究班では、これらの各種母子保健事業の評価を行う目的で、上記の研究・クエスションを設定し研究を行った。